

5/17 3.74

健健康保険証と一体化したマイナーバーカードに別の情報がひも付けされていたことが発覚しました。コンビニでマイナーカードを使って行政機関に証明書の発行を申請したところ、別入の住民票や抹消した印鑑登録の証明書が交付されるトラブルも相次いでいます。個人情報を漏えいさせないという最低限の安全性を確保されていませんでした。参院で審議されている健康保険証廃止法案は廃棄にするしかありません。

主張

## マイナカード混乱

など個人情報が別人に閲覧されていました。

健保組合などが保険料を支払うべきで、イナカードを運営させる作業を行った際に入力を誤った可能性があるといいます。加藤勝信理事長は「今後こうしたことが起らなければよい注釈したい」と述べました。

案は、保険証をマイナカードにて  
24年秋に廃止します。

が義務づけられてくる。カードと一体化する危険性があることなりたのと、保険証の発行すれば運転は必要ない。

イナタル開港法を制定して進めて、政府が原因究明に責任を持つべきです。

取得の押し付けに反省を

保険証廃止の方針が出てから、イナカードの取得申請が急増しています。保険証を入管のようにして、短期間に大量の交付を図った

取得の押し付けに反省を

個人情報を漏べしむせないと、より  
最低限の安全性とされ確保されてい  
ませんでした。参院で審議されで  
いる健康保険証廃止法案は廃棄と  
するしかありません。

## システムの「安全」崩れている

説明になりません。一年余のカードを一氣に全国展を持たせよう  
間に7000件超の騒りが続いたうとしてます。

コムニティの透明度交付を巡り、政府はシステムを製作して

謹を宣教せよ」とマヤヌアードの精神を継承せねばならぬ。

保険証廃止法案はやめよ

説明になりません。一年余の間に7000件超の誤りが続いたのはなぜか。原因を明らかにするのは政府の義務です。

厚労省が事態を発表したのは12月です。保険証廢止法案が審議されてくる国会になぜもとと耳く報告しなかったのか疑問です。国法の上で、被保険者全員への交付

カードを一気に全国民に持たせようとしています。

この流れの中で、地方自治体を経由して政令等のシステムを作成したところ、市町村一体で運営する一時停止車両検査を始めたとしています。スーカー任せの自治体ではなく、自分でやるんだよ。

認を離れてからマイナカードの取扱いに異議を唱へたのは岸田政権が反対すべきです。政府は保険証廃止の後、運転免許証との一体化まで繋りつけています。問題をやむやみにしてマイナカードの使途拡大を強行するなどは論外です。